

令和 6 年第 14 回真庭市教育委員会会議録

会 議 種 類	定例会	
開 催 年 月 日	令和 6 年 12 月 19 日（水）	
開会及び閉会 時 刻	開会時刻	09：30
	閉会時刻	10：04
場 所	真庭市本庁舎 3 階 教育委員室	
会議録署名者	教 育 長 三ツ 宗宏	
	署名委員 徳山 周一	
会議録作成者	教育総務課 課長補佐 吉鶴 尚美	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	
委 員	和 田 ひろみ	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	武 村 良 江	
教育総務課長	浅 野 晃 彦	
教育魅力化推進担当課長	荒 井 建 太	
学校給食推進室長	丸 山 昭 良	
学 校 教 育 課 長	田 中 裕 恵	
生涯学習課課長	谷 岡 理 江	
図書館振興室長	佐 藤 弘 敏	
教育総務課課長補佐	吉 鶴 尚 美	

3 傍聴人

な し

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	徳山委員
第 3	教育長諸報告	武村教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 3 1 号 真庭市立学校職員服務規程の一部改正について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉会	

5 議事の概要

(09 時 30 分 開会)

○三ツ教育長

これから第 14 回教育委員会を開催いたします。以下議事日程に従って進めてまいります。まず日程第 1 教育長挨拶ということです。

雪が降りました。蒜山の方は 20cm ぐらい。寒くなってきましたが、学校では、寒さの影響ということではないのかもしれませんが、少しインフルエンザが流行って落ち着きつつあります。学期末に向かって、それぞれの学校で進行しているところだと思います。教育委員のみなさんには学校訪問をこの間していただきました。気づきについては、また少し時間をとってお話いただけたらと思います。様々な課題ありますが、子どもたちが元気に学校や地域で活躍してくれることを願っているところです。

今回議会でもあったのですが、GIGA スクール構想に関わって、AI の活用とか、いろいろなことがいわれるようになりました。時代の流れだから、それはそれで大事なんだろうなと思いつつ、一方では、危惧する声もずいぶん大きくなってきたなということを感じています。紙と鉛筆の復権ということを訴えられる人がすごく多くなっています。考えてみるに便利な道具なんですが、1 つ間違えると、手間かけたり考えたりするということが奪われていくという危険性がシンプルに考えてありますので。朝走っている人もたくさんいますが、体にしただけで負荷をかけるから鍛えられていくわけですね。では、脳に対して負荷をかけるということを考えるときには、やはり手間でも、紙をめくって本を読むとか、あるいは手間でも鉛筆でノートを開きながら字を書くとか。それが五感を使って学んでいく上で本当に大事ではないのか。1 つ間違えると、コスパとかタイパとか、利便性ということを教育の分野で大事にしすぎると、これは負荷をどんどん奪っていく。結局、体も頭も鍛えられないのではないのかという議論が結構大きくなっています。時代の流れとともに、大事にしなければならぬものということは考えていかなければならぬことをつくづく思っ

います。サイト等を見てたら、ノルウェーや北欧の方では、そのあたりのバランスを考えていかなければならないと議論になっています。アクセスとブレーキを一緒に踏むような話ではありますが、現場レベルでも、子どもの姿を見ながら、しっかりと議論をしていけたらと思いますし、保護者の方々ともそういう話ができるが一番よいと思っている昨今であります。

続いて、日程第 2 署名委員の指名ですが、今日は徳山委員さんお願いします。

○徳山委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第 3 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○武村教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

報告をさせていただきました。ご質問、ご意見ありますでしょうか？

続いて日程第 4 付議事件です。

議案第 31 号真庭市立学校職員服務規程の一部改正についてお願いします。

○田中学校教育課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

説明がありました。委員のみなさんから何かありますでしょうか。

これは職員の種別によらず全部この考え方でいくのですか。

○田中学校教育課長

県費の常勤職員で兼務していない職員を対象とするように予定しています。非常勤も含めますが、兼務をしていない人ということになります。市費は除くという状況になります。

○三ツ教育長

ということで、全員という形にはまだならないということであります。

○徳山委員

校内のそういう年休簿とか、そういうものもなくなっていくっていうことですね。

○田中学校教育課長

そのようになります。ミスもかなり多かったということがあるので、点検等も大変だったようなので、これですいぶん簡略化される状況になると思います。

○三ツ教育長

したがって、服務簿関係が学校にたくさんあるという形ではなくなるということですね。原則としてですけど。

その他、委員の皆さんから何かありますでしょうか？

それでは、お諮りをいたします。議案第 31 号真庭市立学校職員服務規程の一部改正についてご異議ございませんか？

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、異議なしということで、原案可決をお願いをいたします。

付議事件は以上であります。続いて日程第5、その他です。委員のみなさんから何かありますでしょうか？

それでは、学校訪問に行っていたいてありがとうございました。少し気づきだけでも懇談できたらと思うんですが。委員のみなさまから、ご発言いただけたらと思います。いかがでしょうか。

○徳山委員

感想ぐらいになります。よかったと思うことが2つあります。1つは、これまでよりも落ち着いた授業ができているということや、子どもたちが前向きに学習に取り組んでいるという姿がたくさん見られたということでよかったです。もう1つは、学校運営協議会や地域協働本部の取り組みを、これまで以上に充実させている学校が増えたということです。地域との連携も徐々に深まっている様子が見えて、嬉しく思っています。

学校が課題として挙げられたことの中では、児童数の減少ということが一番多かったと思います。それから不登校の問題を課題としても挙げられていました。また、落ち着いた学習環境にするために、特別支援体制の充実が課題とあげておられる学校もありました。これから、頑張っていたきたいと思ったことでは、CS 地域協働本部の取り組みが進展してきたので、各学校で郷育が定着してきていると思います。これまでは、地域の方が学校に来て、指導してくださることがほとんどでしたが、子どもたちが地域に向けて発信するという学校も徐々に増えつつあるように感じて、これはとてもよいことだと思いました。子どもからの発信が、それぞれの地域の大人を巻き込んで、そのことが地域を元気にすることや、地域を見直していくことにもつながっているのかなと思いました。そうやって地域とつながりを深めていくことで児童数の減少などの課題についても、地域と一緒に考えていけるようになればいいのではないかと思います。以上です。

○三ツ教育長

ありがとうございます。他にありませんか。

○常本委員

徳山委員からほぼ言っていたので、感じたことを言います。

北房中学校で、中学校を卒業したらこんな力をつけたいと、学年によって目標を立てていました。そのためには1年の時にはここまで、2年の時はこれ、3年はこれということを教職員で共通理解を図っているというところが、スモールステップを上がっていく面では、とてもよい計画だと思いました。同じようなことが小学校でもありましたかね。1、2年でここを目標に、3、4年ではここ、5、6年ではここ。これは意外と分かりやすく、先生方も指導がしやすいのではないかという感想を持ちました。学校の特性によるとは思いますが、そういう目標設定があるということが、これから広まっていったらよいのかなという感じもしました。

基本的には、私も落ち着いた学習環境で子どもたちが取り組んでいると思います。横から、前からとできるだけ子どもの顔を見るんですが、年々、考えている顔をしている子が増えたかなと思います。中学生が本当に真剣に考えてるなあと。そんな横顔が増えたかなと思いました。それから、学力を伸ばすために、ドリルやいろいろなプリントがあって、自分で取って学習していくという学校が増えてきたと思いました。一律に校長先生が言われていたのが、自主的な勉強ができるように頑張っていこうとしているんだということ。主体的、対話的な深い学びをするには、対話をする前に、まず主体的に自分が考えて行動ができないと、対話的な学びだと深い学びができないと思うので、そういうところを意識されてるところが増えていると思いました。以上です。

○和田委員

いろいろな学校を見させていただいて、ほとんどどの学校に行っても落ち着かれて学習に取り組んでいるし、荒れているということが、都会ではよく言われることですが、そういうところが全くなくて、本当に非常によい環境で、

先生もいろんなところで全力していただいて、子どもたちと向き合っていた
いていることがすごく伝わってきて、ただただ保護者としてはありがたいな
と思いました。

やはり児童数の減少や不登校というところに、それぞれの学校で先生が悩ま
れているのを聞いて、子どもが減るということは、もう仕方がないかもしれま
せんが、市民としても、いろいろな意味で大きく捉えて考えないといけないと
切実に感じました。でも、蒜山に行った時に、中和もそうですが、里山留学で
きている子どもたちや、海外から来られたりとか、大阪から移住してこられた
という子どもたちのことを聞いていると、それが光に感じ、真庭市を挙げて、
里山留学であったり、特化した個性のある学区という形にすれば、もしかする
と、都会や海外からの子どもたちが、真庭の方に教育を求めて来てくれるの
ではないかという希望も見えてきたので、がっかりしないで、校長先生方とも一
緒に考えることができたらと思いました。

また、e ライブラリーやタブレットを使って、ゲームもしながら、自分の学力
レベルを上げていく学校もあれば、プリントで自分のスキルアップをしていく
学校もあって、校長先生のお考えだとは思いますが、それぞれ違っている
ところがあって、それがはたしてどっちがよいのかなとはすごく感じました。学
校によって差があるということが、結果、どっちがよいのだろうか、保護者
としても気になるころでした。

また、今回ちょうど学習発表会の時期でしたので、子どもたちが、すごく感
受性豊かに歌ったり、発表をしてるところを見ました。その素晴らしいところ
を生かして、さらにスキルアップしてあげられるようなことがあってもよい
のではないかと思います。どうしても算数や国語の方に目を向けがちなんです
が、図工や音楽のところでも真庭では素晴らしい子どもたちが育っているんだ
と。コーラスの鈴木先生からよくお話をうかがうのですが、「音楽等の時間が短
縮されていて、情緒不安定な子どもが増えている。そのような時間が減らされ
ずに、情緒豊かになれば、学力にもつながる」と言われています。そういう
ころも、見ていけられるような真庭市であればよいと思っています。

○高谷委員

私は、仕事の都合で2日間しか参加ができなかったのですが、それでも生徒の人数が多い学校から、少ない学校とそれぞれ参加することができて、それぞれの良さがあるということをすごく感じました。今年で4回目、5回目の訪問でしたが、勝手な私の印象ですが、以前よりもすごく落ち着いてきている。もちろん前も落ち着いていると思っていたのですが、より子どもたちが安心して様子というのが伝わってきました。その授業の時の、さっきおっしゃっていた考えている顔になっているというのもそうなのですが、少しずつよい方向に進んでいるということを体感できて、いろいろ先生たちが不登校や学力といった課題を持っていることは、すぐに数字の結果は出なくても、これからどんどん良い変化が起こっていくのではないかと希望を感じておりました。

○三ツ教育長

ありがとうございます。事務局の方も何かあれば。

○浅野教育総務課長

確かに委員さんがおっしゃったように、いろいろな掲示物を見ても地域との繋がりや活動をしっかりやっておられるとおりました。教育総務課では、高校魅力化の事業をやっておりますので、中高連携ということで、蒜山中学校と蒜山校地のと関わり、それから小学校とも。蒜山校地の子どもが夏に小学生とスタディキャンプをやりたりということで、来年の夏は学習交流センターが新たにできるので、そこでサマーキャンプを、小学生と交流をやりたいという提案が蒜山校地の校長からされたということで、川上小学校の校長が非常に喜んでおられました。そういった輪がどんどん広がっていくということは、非常にいいことだなと。先生もそういったところにどんどん目を向けていっているのかなと、非常にいい状況だと感じてます。こういったことが、もっといろいろな地域でも広がっていくことを期待しています。

○三ツ教育長

ありがとうございます。様々な感想、それから前向きに動いている点、課題等についてもお話しいただきました。児童数の減少については、我々が頭を切り替えることも大事なんだろうと思っています。学校が閉じた状態であれば、教員もどんどん減っていきますし、多分、学びは担保できないだろう。むしろ、地域の方々が定義する場所であったり、学校と地域が繋がって、さっきのキャンプの話ではないんですが、一緒にやるということが生まれる場所であったりという形で、子どもたちが多様な人たちと、ともにありながら育っていくということを担保していかないと。多分、学校だけでは難しいだろうなと思っています。逆に言えば、共生と言われる時代ですから、いろいろな人と支え合って生きていくということを、身を持って体感して、強みなんだっていうことも感じてほしい。

今回の議会でも子どもの数が減って、学校はどうするんだという質問が3件出てました。関心事にはなってくるし困難になっていくのですが、逆に強みにどうしたらしていけるのかということも合わせて、考えていかなければいけないと思っています。ありがとうございました。

それでは、事務局より、その他ありますか。

○武村教育次長

・令和7年 第2回教育委員会 2月14日（金）15:00

その後、社会教育委員との懇談となります。

○三ツ教育長

その他、委員の皆さんからよろしいですか。

それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

（10時04分 閉会）